

議事録

1. 件名：「令和 3 年度 鋼コンクリート製の原子炉本体基礎の復元力特性の検討用の試験体の設計」に係る打ち合わせ(第 5 回)
2. 日時： 令和 4 年 2 月 4 日(金) 13:30～15:30
3. 場所： 原子力規制庁 会議室
4. 出席者： 原子力規制庁
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門
日比野統括技術研究調査官、藤原技術研究調査官、高松技術参与

東芝エネルギーシステムズ株式会社
磯子エンジニアリングセンター 原子力システム設計部 エキスパート
磯子エンジニアリングセンター 原子力プラント設計部 担当
パワーシステム事業部 原子力技術部 参事

鹿島建設株式会社
原子力部 技師長
原子力部 原子力設計室 担当部長 ほか 1 名
5. 要旨：
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門では、地震に対するフラジリティ評価手法の高度化の検討の一環として、過去に大きな地震を経験した既設プラントの(取り替えの利かない)設備の耐震性に係る知見を拡充するための安全研究を令和 3 年度から令和 6 年度にかけて計画し、実施している。
当部門では、本安全研究の一環として、東芝エネルギーシステムズ株式会社と請負契約を締結し、「令和 3 年度 鋼コンクリート製の原子炉本体基礎の復元力特性の検討用の試験体の設計」事業を実施している。
今回は、当事業に係る第 5 回打ち合わせを実施した。内容は下記のとおり。
 - ① 従来研究の調査結果について、東芝エネルギーシステムズ及び鹿島建設から説明があった。また、その内容について、議論した。
 - ② 試験体の設計や試験計画、事前解析の進捗について、東芝エネルギーシステムズから説明があった。また、載荷条件や試験データの計測方法、解析結果の解釈について、議論した。

③ 今後のスケジュールについて、確認した。

6. その他
特になし